

日本語文法学会 予稿集原稿 および 要旨 作成要領 (研究発表・パネルセッション(一般))

- ※ 日本語文法学会では、第 21 回大会より、予稿集を電子版(PDF 版)としています。
- ※ 研究発表者の方には、【1】『発表予稿集』の原稿、【2】発表要旨(①事前要旨(学会 HP 掲載用)、②事後要旨(大会終了後発行の学会誌『日本語文法』掲載用)の作成をお願い申し上げます。なお、項目「【3】著作権について」を必ずご確認ください。
- ※ ご不明の点は、大会委員会アドレス(nihongo.bunpo.taikai[at]gmail.com([at]を@に代えてください))までお問い合わせください。

【1】『発表予稿集』原稿作成要領

- (1) お送りいただいた原稿をそのままとりまとめて予稿集 PDF 版を作成します。原稿は Word・一太郎等の文書作成アプリケーションで作成し、すべてのフォントを埋め込んで PDF 化してください。文字化けや図表の崩れ等がないか確認の上、完成原稿として PDF ファイルをご提出ください。
- (2) 用紙は A4 サイズとしてください。行数、文字数、文字の大きさは自由ですが、読みにくくならないよう、ご配慮ください。
- (3) 原稿の枚数は発表形態ごとに下記のとおりとなっています。
 - ・研究発表：8 頁以内
 - ・パネルセッション：全体で 24 頁以内
- (4) 書式は、縦書き、横書きいずれでも結構です。
- (5) 上下左右の余白は、それぞれ 30mm に設定してください。
- (6) モノクロ設定とし、カラーは使用しないでください。また網掛け等も不鮮明となる恐れがありますので、できるだけ使用しないでください。
- (7) ページ番号・ヘッダー・フッター等は付けしないでください。
- (8) ご作成にあたっては、次の点にご注意のうえ遵守してください。
 - ・題目・氏名・所属を冒頭に記載してください。
 - ・発表題目は、研究発表応募時のものから変更できません。
 - ・氏名・所属は次の形式(大会プログラムと同じ形式)で記載してください。
 - 田中一郎(関東大学)……常勤の場合(学部、大学院は不要)
 - 田中一郎(関東大学非常勤講師)……非常勤の場合
 - 田中一郎(関東大学大学院生)……学生の場合(学部生の場合は「学部生」)
 - ・発表予稿集原稿の内容は、応募時の内容を逸脱しないようご注意ください。また予稿集の内容と大会当日の発表内容を変えることはできません。当日の口頭での修正は、誤字・脱字等の必要最小限のものにおとどめください。また資料の追加配布はお認めしておりません。ただし、

予稿の他パワーポイント等スライドを使用することは出来ます。

(9) 締め切りは、2024 年 10 月 10 日(木) (必着)です。

(10) 原稿の提出先は、下記の2箇所です([at]を@に代えてください)。電子メールの添付ファイルでお送りください。

<提出先> 大会委員長 宮地朝子 [miyachi.asako.f1\[at\]f.mail.nagoya-u.ac.jp](mailto:miyachi.asako.f1@f.mail.nagoya-u.ac.jp)
大会委員会 [nihongo.bunpo.taikai\[at\]gmail.com](mailto:nihongo.bunpo.taikai@gmail.com)

なお、文字化け等が生じた場合には Word・一太郎等文書作成ソフトのファイルの提出やハードコピーの郵送をお願いすることがあります。

【2】「発表要旨」作成要領

① 事前要旨(日本語文法学会 HP 事前公開用)

(1) テキスト(もしくは word 等)と、PDF の 2 ファイルをご提出ください。

(2) 原稿の冒頭に題目、氏名、所属を、大会プログラムと同じ形式で記載してください。改行し、次の行から要旨本文をお書きください。

(3) 要旨本文は、「このような内容で発表する」という様式でお書きください。

(4) 要旨本文中、田中(2019)のように先行研究に言及する場合、字数以内で末尾に引用文献情報もお書きください。または、本文中に必要情報がそろった形式で言及してください。

(5) 要旨本文の分量は、発表形態に即して下記のとおりです。制限を超過したものについては掲載をお断りすることもありますので、ご注意ください。行頭禁則文字は前の行に入れないで次の行に追い出してください。

・研究発表：400 字以内(1行 40 字×10 行)。

・パネルセッション：全体で 800 字以内(1行 40 字×20 行)

(6) 締め切りは、2024 年 10 月 10 日(木) (必着)です。

(7) 原稿の提出先は、下記の2箇所です([at]を@に代えてください)。電子メールの添付ファイルでお送りください。パネルセッションの場合、代表者からまとめてご提出ください。

<提出先> 大会委員長 宮地朝子 [miyachi.asako.f1\[at\]f.mail.nagoya-u.ac.jp](mailto:miyachi.asako.f1@f.mail.nagoya-u.ac.jp)
大会委員会 [nihongo.bunpo.taikai\[at\]gmail.com](mailto:nihongo.bunpo.taikai@gmail.com)

② 事後要旨(大会後発行『日本語文法』各巻1号掲載用)

(1) テキスト(もしくは Word 等)と、PDF の 2 ファイルをご提出ください。

(2) 原稿の冒頭に題目、氏名、所属(発表当時のもの)を、大会プログラムと同じ形式で記載してください。改行し、次の行から要旨本文をお書きください。

(3) 要旨本文は、「このような内容で発表する」という様式ではなく、「このような内容で発表した」という記録の様式でお書きください。

(4) 要旨本文中、田中(2019)のように先行研究に言及する場合、字数以内で末尾に引用文献情報もお書きください。または、本文中に必要情報がそろった形式で言及してください。

(5) 要旨本文の分量は、発表形態に即して下記のとおりです。制限を超過したものについては掲載をお断りすることもありますので、ご注意ください。行頭禁則文字は前の行に入れないで次の行に追い出してください。

・研究発表：400字以内(1行40字×10行)。

・パネルセッション：全体の趣旨200字以内(40字×5行)、各発表400字以内(1行40字×10行)。

※冒頭に全体の題目、趣旨を示したあと、各発表の題目・氏名・所属、要旨本文400字以内を発表順に示してください。

(6) 締め切りは、2024年12月28日(土)(必着)です。

(7) 原稿の提出先は、下記の2箇所です([at]を@に代えてください)。電子メールの添付ファイルでお送りください。パネルセッションの場合、代表者が全体を1文書にまとめてご提出ください。

<提出先> 大会委員長 宮地朝子 [miyachi.asako.f1\[at\]f.mail.nagoya-u.ac.jp](mailto:miyachi.asako.f1@f.mail.nagoya-u.ac.jp)
大会委員会 [nihongo.bunpo.taikai\[at\]gmail.com](mailto:nihongo.bunpo.taikai@gmail.com)

【3】著作権について

予稿集掲載原稿および要旨の著作権は、日本語文法学会に帰属するものとします。また、日本語文法学会は、掲載原稿および要旨を電子的な手段で配布する権利を有するものとします。

著者が大会後、掲載原稿を自身の著作物に掲載したり、電子的な手段で公開・配布したりすることは認められます。ただし、その原稿が『日本語文法学会大会発表予稿集』に掲載されたものであることを明示しなければなりません。その場合、できるだけ日本語文法学会にご連絡をお願いします。

なお、予稿集および要旨の原稿をお送りいただいたことにより、本項目の内容にご同意いただいたものとみなさせていただきます。

以上